

運営推進会議 会議録

事業所名	地域密着型特別養護老人ホーム思恩
所在地	山形県鶴岡市馬町字枇杷川原 23 番地
サービス種類	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護（ユニット型）
開催日時	令和 7 年 6 月 6 日（金）10：00～10：45
開催場所	思恩会福祉ヴィレッジ 会議室
出席者	○委員 4 名 地域住民代表 1 名・入居者ご家族 1 名・サービスについて知見を有する者 1 名・鶴岡西地域包括支援センター所長 1 名 ○施設長・主任生活相談員 ※1 欠席者（地域住民代表 1 名：欠席者には会議資料及び会議録送付） ※2 入居者代表 1 名欠員
議題 報告事項	1. 施設の現況 （1）職員の状況 （2）入居者・待機者の状況 2. 施設運営状況（令和 7 年 4 月 1 日～5 月 31 日） 3. 今後の主な予定 4. 事故・苦情報告 5. 感染症対策 6. 防災対策 7. 令和 6 年度事業報告
評価・要望 意見・助言 等	<入居者様ご家族より> ○災害時の避難について →思恩会福祉ヴィレッジは福祉避難所として指定を受けてり、病気の方、妊婦や障害をお持ちの方の避難場所となっている。災害状況や規模にもよるが、入居者様が他へ避難されることは想定していない。福祉避難所としては、避難者への備蓄品の確保、行政との連携などが課題がある。 ○人材確保について →ハローワークに求人を出しても応募がない状況である。他産業との賃金格差も広がり、令和 5 年に関しては平均賃金月額 8 万 3 千円の差がある状況。また、入職して 10 年以上の介護職員の離職も増えている現状がある。思恩会と

	しては、早期より外国人介護職員を採用し育成することを考え、6月10日より2名採用する。県内でも200名程、庄内においては60名程が働いている。 ○思恩会の経営状況は →介護保険施設においては、厳しい経営となっている。県内においても、特養の6割が赤字であり、どの施設も厳しい経営状況である。経営安定化に向けてしっかり取り組んでいきたい。 ＜地域の代表者より＞ ○思恩会福祉ヴィレッジ3周年感謝祭はとても感動した。高校生や中学生の演奏なども素晴らしく、入居者の方々も喜んでいた。地域にも開かれた施設で良かったと思う。日程についてですが、知らない方も居たようでした。 →馬町上、中、下には回覧板でお知らせしました。多くの地域の皆様よりご参加いただきありがとうございました。今後も施設と地域住民の方との交流、連携に力を入れていきたい。 ＜サービスについて知見を有する者より＞ ○おむつの見直し、福祉機器について →おむつ商品の見直しにより、快適性を維持しつつ回数の削減（職員の負担軽減）に繋げることができた。 →ノーリフティングケアの観点から床走行式リフト導入を検討している。他施設においては、見守りカメラも導入している施設もあるが、現在導入の予定はない。 ○防災に関する備蓄品・施設の設備について。 →水に関しては2週間ほどの備蓄がある。停電時には、自家発電装置、ポータブル発電機も完備している。 ○郵便料金が安い、開催案内は電話でもよいのでは →次回開催まで年間の開催予定をお配りし、開催前に電話で出欠確認をします。
その他	＜施設長より＞ ・委員のうち入居者代表1名が退任されている。次回まで選任していきたい。 ・今後も委員の皆様のご意見、ご要望を施設運営に反映させてまいります。

※施設内で閲覧もできます。